

# 演習課題 1

## 入力ファイル

前年度の人工知能システム開発実習で使用した `aozora-small.txt` を使用した。

## ソースコード

LMSのサンプルを使用。

## 実行結果

のである。そのである。そのである。そのであ

## 考察

実行結果より、入力ファイル内で最も出現した文字は の であり、その後に最も出現した文字も の であることがわかった。

今回のプログラムでは、n-gramを参照して出現頻度が最も高い文字が必ず選ばれるようになっているため、出力がループする結果となってしまった。

選ぶ文字を、n-gramの出現頻度に基づいた確率的な選択に変更することで、ループを回避できると考えられる。